

社 会

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

| 発行者の番号及び略称 | | | 教科書名 |
|------------|---|---|----------|
| 2 | 東 | 書 | 新編 新しい社会 |
| 17 | 教 | 出 | 小学社会 |
| 38 | 光 | 村 | 社会 |
| 116 | 日 | 文 | 小学社会 |

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

| 観点 | | 視点 | | 方法 |
|-----|-------------|----|---|---|
| (ア) | 基礎・基本の定着 | ① | 単元の目標の示し方 | 1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例 |
| | | ② | 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 | (第3・4学年) 年中行事の扱い (第5学年) 日本の位置と領土についての扱い (第5学年) 環境の保全及び自然災害の防止についての扱い (第6学年) 世界文化遺産の扱い及び国の形成に関する考え方 |
| | | ③ | 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 | (第3・4学年) 47都道府県の学び方の例 (第5学年) 世界の主な大陸と海洋の例及び世界の主な国の例 (第6学年) 歴史上の人物の扱い及び事例 |
| (イ) | 学習方法の工夫 | ④ | 興味・関心を高めるための工夫 | 導入の工夫及び興味・関心を高める問いの例 |
| | | ⑤ | 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫 | 学び方のポイント及びまとめ方の例 |
| | | ⑥ | 作業的・体験的な学習を実施するための工夫 | 作業的・体験的な学習の例及び具体的な事例 |
| (ウ) | 内容の構成・配列・分量 | ⑦ | 単元や資料等の配列 | 単元の構成・事例の取扱い |
| | | ⑧ | 単元ごとの分量や問題数等 | 各単元の構成, 補充的・発展的教材の分量, バランス |
| (エ) | 内容の表現・表記 | ⑨ | 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 | 使用されている写真, 地図, グラフ等の資料及び小単元における資料の種類と数 |
| | | ⑩ | 本文以外の記述の工夫 | 脚注・側注の扱い |
| (オ) | 言語活動の充実 | ⑪ | 観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し, それらを再構成するとともに, お互いの考えを深めていくための工夫 | 観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し, それらを再構成するとともに, お互いの考えを深めていくための学習活動例 |
| | | ⑫ | 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫 | 新聞, 地図, 年表, レポート, ホームページなどでのまとめ方及び具体例 |

【社会】

| | |
|----|---------------------|
| 観点 | (ア) 基礎・基本の定着 |
| 視点 | ①単元の目標の示し方 |
| 方法 | 1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例 |

| | 1時間ごとの目標の記載（第3・4学年） | 具体例 |
|--------|--|---|
| 東 書 | ○ 見開きごとに「スーパーマーケットでの買い物」, 「たくさんのお客さんが来るひみつ」等のタイトルを 項目で示している。タイトルの左横に「つかむ」, 「調べる」, 「まとめる」の学習過程とともに「どのような ～でしょうか」, 「～は、なぜでしょうか」等の問い かけの形態で提示している。 | ○ 「わたしたちは、スーパーマーケット でふだんのような買い物をしている でしょうか。」 ○ 「たくさんのお客さんが来るのは、な ぜでしょうか。」 |
| 教 出 | ○ 見開きごとに「買い物はどこで」, 「スーパーマーケットのよいところ」等のタイトルを項目で示してい る。タイトルの左横に「どのような～だろう」, 「～は、なぜだろう」等の問いかけの形態で提示してい る。 | ○ 「家の人たちは、どのような店で買い 物をしているのだろう。」 ○ 「スーパーマーケットに買い物に行く 人が多いのは、なぜだろう。」 |
| 光 村 | ○ 「買い物調べ」, 「見学のじゅんび」等のタイトルを 項目で示している。ページの上部に「見つける」, 「調べる・話し合う」, 「まとめる・広げる」の学習過程と ともに「どんな～でしょう」, 「～は、どうしてかな」 等の問いかけの形態で提示している。 | ○ 「わたしたちのまちには、どんな店が あるのでしょうか。」 ○ 「スーパーマーケットで、よく買い物 をするのは、どうしてかな。」 |
| 日 文 | ○ 見開きごとに「知っている店をしょうかいし合う」, 「店内図にまとめて話し合う」等のタイトルを項目で 示している。タイトルの左横に「どんな～だろう」, 「～理由は何だろう」等の問いかけの形態で提示し ている。 | ○ 「わたしたちのまちには、どんな店が あるのだろう。」 ○ 「たくさんのお客さんが買い物に来る 理由は何だろう。」 |

【社会】

| | |
|-----------|------------------------------|
| 観点 | (ア) 基礎・基本の定着 |
| 視点 | ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 |
| 方法 | 年中行事の扱い |

| 年中行事の扱い（第3・4学年） | |
|-----------------|---|
| 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「松山の秋祭り」を取り上げている。 ○ 地域に古くから残るものを調べ、発表している。 ○ 古くから残る建物を見学し、関係者から聞き取りをし、調べている。 ○ 昔から続く祭りについて、関係者から聞き取りをし、調べている。 ○ 郷土芸能の保存会の人から聞き取りをし、郷土芸能の体験をしている。 ○ 歴史マップをつくり、調べたことをまとめている。 |
| 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「大石神社の祭り」を取り上げている。 ○ 「大石神社の祭り」について、話し合っている。 ○ まちの昔に詳しい人に手紙を書き、調べている。 ○ 祭りやおはやしを受けつぐ人たちから、聞き取りをしている。 ○ おはやし保存会を訪ね、おはやしの練習に参加している。 ○ まちに伝わる年中行事について聞き取り、調べたことをカレンダーにまとめている。 |
| 光 村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「舞岡ばやし」を取り上げている。 ○ 自分たちのまちにある昔からの行事について、調べている。 ○ おはやし保存会の人に聞きたいことをノートにまとめている。 ○ おはやし保存会の練習を見学し、保存会の人に聞き取りをしている。 ○ おはやし保存会の人に教えてもらい、おはやしに挑戦している。 ○ まちに昔から伝わる行事を調べて、カードを作って紹介している。 |
| 日 文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「とちぎ秋祭り」を取り上げている。 ○ 秋祭りについてグループに分かれて調べ、発表している。 ○ 山車会館の人から、聞き取りをし、山車等を見学している。 ○ 祭りを支える人びとから、聞き取りをし、調べたことをもとに話し合っている。 ○ 市につたわる祭りや行事について、調べて、話し合っている。 ○ ふりかえりの手順をもとにまとめている。 |

| | |
|----|------------------------------|
| 観点 | (ア) 基礎・基本の定着 |
| 視点 | ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 |
| 方法 | 日本の位置と領土についての扱い |

| 日本の位置と領土についての扱い（第5学年） | |
|-----------------------|---|
| 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図・・・北方領土，竹島，尖閣諸島 ○ 写真・・・北方領土，竹島，尖閣諸島 ○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の北東に続く歯舞群島，色丹島，国後島，択捉島は，日本固有の領土です。ところが，70年ほど前におきた太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦が占領し，その後もソビエト連邦をひきついでロシア連邦が不法に占領しています。日本政府は，これらの島を返すように求めて，交しょうを続けています。北方領土が1日も早く日本にもどることが，わたしたち日本人の願いです。 ○ 竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・日本海上にある竹島は，日本固有の領土ですが，韓国が不法に占領しています。 ○ 尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・東シナ海にある尖閣諸島は，日本固有の領土ですが，中国がその領有を主張しています。 |
| 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図・・・北方領土，竹島，尖閣諸島 ○ 写真・・・北方領土，竹島，尖閣諸島 ○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の北東に連なる歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の島々は，北方領土とよばれる日本の領土です。しかし，1945（昭和20）年，太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦（今のロシア連邦）が不法に占領し，そこに住んでいた日本人は強制的に退去させられ，今にいたっています。日本は，北方領土の一日も早い返還をロシア連邦に求め続けています。 ○ 竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・島根県の竹島は，日本の領土でありながら，1954年（昭和29）年から韓国が不法な占拠を続けています。日本はこれに抗議するとともに，国際的な場で話し合いによって平和的に解決しようと，韓国に対するはたらきかけを重ねてきています。 ○ 尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県の尖閣諸島も日本の領土でありながら，中国が自国の領土であると主張しています。その周りの日本の海では，中国の船が侵入し，日本の同意を得ることなく海洋調査を行ったり，違法に漁業を行ったりするなどの行為をくり返しています。日本は，海上保安庁などによる警戒や取りしまりを強め，そうした行為をしないよう中国に求めています。 |
| 光 村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図・・・北方領土，竹島，尖閣諸島 ○ 写真・・・北方領土 ○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の北東にある歯舞群島，色丹島，国後島，択捉島の北方領土は，元から日本の領土ですが，第二次世界大戦の後，ソビエト連邦（今のロシア連邦）が占領し，今も不法に支配しています。これらの島々が1日も早く日本にもどるよう，日本政府は返還を求める交しょうを続けています。 ○ 竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・日本海に位置する竹島（島根県）は，日本固有の領土です。しかし，韓国が不法に占拠しており，日本政府は強く抗議しています。 ○ 尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄本島の西にある尖閣諸島（沖縄県）は日本の領土ですが，中国がその領有を主張しています。 |
| 日 文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図・・・北方領土，竹島，尖閣諸島 ○ 写真・・・北方領土，竹島，尖閣諸島 ○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・70年ほど前，第二次世界大戦ののち，ソビエト連邦は，択捉島や，その近くにある国後島，色丹島，歯舞群島を占領しました。これらの島々は，北方領土とよばれ，現在，ソビエト連邦を引きついでロシア連邦が不法に占拠しています。日本政府は，北方領土は日本の固有の領土であるため，これらの島々を返すようにロシア連邦にはたらきかけ，話し合いを続けています。日本の人々は，これらの島々が一日も早く返ってくることを願っています。 ○ 竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・日本海にある竹島は，日本固有の領土ですが，現在，韓国が不法に占拠しています。 ○ 尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・東シナ海にある尖閣諸島は，日本固有の領土ですが，中国も自国の領土であると主張しています。 |

【社会】

| | |
|-----------|------------------------------|
| 観点 | (ア) 基礎・基本の定着 |
| 視点 | ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 |
| 方法 | 環境の保全及び自然災害の防止についての扱い |

| | 環境の保全についての扱い (第5学年) | 自然災害の防止についての扱い (第5学年) |
|----------------|--|---|
| 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 鴨川を取り上げている。 ○ 今と昔の鴨川のちがいについて、話し合っている。 ○ きれいな鴨川をとりもどすための努力について、市役所の人や職人の人から聞き取りをしている。 ○ きれいになった環境を守るための取組について、地域の方から聞き取りをし、調べている。 ○ 環境を守るための市民の取組について、調べ、話し合っている。 ○ 鴨川をきれいにする取組について、それぞれの立場でまとめている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本で起こった自然災害について調べている。 ○ 自然災害から人々を守るための取組について調べている。 ○ 自然災害を防ぐ取組について、釜石市、神影地区の人から聞き取りをしている。 ○ 自然災害からわたしたちの生活を守るための取組をまとめ、自分たちにできることを話し合っている。 |
| 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 北九州市を取り上げている。 ○ 空や海がよごれた様子について、住民から聞き取りをしている。 ○ 空や海をきれいにするための取組について、公害をなくす運動に参加した人から聞き取りをしている。 ○ 公害をなくすための市や工場の取組について調べている。 ○ ごみを出さない取組について、工場の人から聞き取りをし、調べている。 ○ 北九州市の環境を守る取組について、まとめている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本で起こった自然災害やその原因について調べている。 ○ 自然災害からくらしを守るための取組について、国土交通省の人から聞き取りをし、調べている。 ○ 防災マップなどを取り上げ、協力して自然災害を防ぐための取組について、調べている。 ○ 自然災害に備えて、自分たちにできることについて、まとめている。 |
| 光 村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 水俣市を取り上げている。 ○ 海が汚染されて起こったことについて、水俣病資料館の資料をもとに調べている。 ○ 水俣病の患者さんたちの願いや思いについて、患者さんから聞き取りをしている。 ○ 今のすがたを取りもどすための水俣市の取組について、調べている。 ○ 身近な環境を大切にすることについて、調べ、話し合っている。 ○ 環境を守ることの大切さについてまとめ、環境宣言を作っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の自然災害について、写真や地図をもとに話し合っている。 ○ 自然災害の被害を防ぐための取組について、聞き取りをし、調べている。 ○ 釜石小学校の取組をもとに、自然災害から自分たちの命を守るための備えについて調べている。 ○ 防災のために、自分たちのできることを考え、発表している。 |
| 日 文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 四日市市を取り上げている。 ○ 空気が汚れていた原因について、当時の小・中学生の作文などから調べている。 ○ 公害に苦しむ人々の活動について、裁判所に訴えた人から聞き取りをし、調べている。 ○ 国や県、市と会社が行った対策について、調べている。 ○ 環境をよりよくするための取組について、市役所の人から聞き取ったり、調べたりしている。 ○ 学習したことをふりかえり、考えを出し合ったり、話し合っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の自然災害や自然災害が多い理由について調べている。 ○ 自然災害がわたしたちの生活や産業に与える影響について、聞き取りをしたり、調べたりしている。 ○ 防災に関する情報やハザードマップを取り上げ、防災の取組について調べている。 ○ 自然災害から命を守るためにできることを考え、まとめている。 |

【社会】

| | |
|-----------|------------------------------|
| 観点 | (ア) 基礎・基本の定着 |
| 視点 | ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 |
| 方法 | 世界文化遺産の扱い及び国の形成に関する考え方 |

| | 世界文化遺産の扱い (第6学年) | 画像で掲載されている 世界文化遺産 | 国の形成に関する考え方 (第6学年) |
|----------------|--|--|---|
| 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文中の写真の表題の後に世界文化遺産を括弧書きで記している。 ○ 巻末の年表の中で世界文化遺産を紹介している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 法隆寺, 東大寺, 正倉院, 唐招提寺, 熊野古道, 平等院鳳凰堂, 中尊寺金色堂, 厳島神社, 金閣, 銀閣, 石見銀山, 日光東照宮の陽明門, 復元された首里城, 原爆ドーム, 姫路城, 白川郷の集落 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 ・神話の中のヤマトタケル ○ 資料の記述内容 ・ヤマトタケルノミコトは, 武勇にすぐれた皇子でした。ヤマトタケルは, 天皇の命令を受けて, 九州へ行って, クマソを平らげ, 休む間もなく, 東日本のエミシをたおしました。ヤマトタケルは, 広い野原で焼きうちにあたり, あれる海とたたかたりして, 苦労をしながら征服を進めました。ところが, 都へ帰る途中, 病気でなくなりました。すると, ヤマトタケルのたましいは, 大きな白鳥に生まれ変わって, 都の方へ飛んでいきました。 |
| 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次のページで世界遺産を示すマークを紹介している。 ○ 本文中の写真の表題の後にマークを付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 法隆寺, 東大寺の大仏, 唐招提寺, 正倉院, 厳島神社, 中尊寺金色堂, 金閣, 銀閣, 龍安寺の石庭, 日光東照宮, 原爆ドーム, | <ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 ・ヤマトタケルの話 ○ 資料の記述内容 ・ヤマトタケルは, 天皇である父の命令で九州におもむき, クマソをうちとりました。次に関東のエミシを従えるよう命じられました。ヤマトタケルは, その途中で, 広い野原で焼きうちにあたり, 荒れる海とたたかたりするような困難にあいながらも, 関東を征服しました。しかし, その帰り道に, 病気でなくなりました。ヤマトタケルは, 大きな白い鳥になって, 大和のほうへ飛んでいったということです。 |
| 光 村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次のページで世界遺産を示すマークを紹介している。 ○ 本文中の写真の表題の後にマークを付けている。 ○ 巻末の見開き2ページに世界遺産を紹介している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 法隆寺, 平等院鳳凰堂, 東大寺大仏殿, 正倉院, 厳島神社, 金閣, 銀閣, 龍安寺の石庭, 日光東照宮の陽明門, 原爆ドーム, 姫路城, 白川郷・五箇山の合掌造り集落, 琉球王国のグスク(城)および関連遺産群, 紀伊山地の霊場と参詣道, 富士山 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 ・神話「ヤマトタケルノミコト」の物語 ○ 資料の記述内容 ・武勇にすぐれた皇子のヤマトタケルノミコトは, 朝廷に従わない九州や山陰の豪族をほろぼした。さらに東国を目ざし, さまざまな危機を乗り越えて, 各地の豪族を従わせていった。皇子は, 大和へ帰る途中, 病気でなくなった。しかし, そのたましいは白い鳥になって, 大和の方へ飛んでいった。 |
| 日 文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次のページで世界遺産を示すマークを紹介している。 ○ 本文中の写真の表題の後にマークを付けている。 ○ 目次のページで世界遺産を紹介している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 姫路城, 白川郷, 厳島神社, 日光東照宮, 熊野参詣道, 中尊寺, 法起寺, 清水寺, 原爆ドーム, 平城宮跡, 首里城跡, 石見銀山遺跡, 富士山, 法隆寺, 東大寺の大仏殿, 正倉院, 金閣, 銀閣, 龍安寺の石庭 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 ・ヤマトタケルノミコト ○ 資料の記述内容 ・昔, ヤマトタケルノミコトという武勇にすぐれた皇子がいました。皇子は, 朝廷に従わない豪族を討てという天皇の命令を受けました。皇子は, 苦労しながら各地の豪族をたおしていきました。しかし, 都へ帰るとちゅうで病気になり, 都がある大和の美しい景色を思いうかべながら, 短い一生を終えたということです。 |

【社会】

| | |
|----|--|
| 観点 | (ア) 基礎・基本の定着 |
| 視点 | ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 |
| 方法 | 47 都道府県の学び方の例 |

| 47 都道府県の学び方の例（第3・4学年） | |
|-----------------------|---|
| 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「知っている都道府県を地図帳でたしかめよう」で、鳥取県・岡山県・香川県・徳島県・北海道・福島県・東京都・京都府の各都道府県について、写真と文章で特色を例示している。 ○ 「日本地図を広げて」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。 ○ 「都道府県の特産品」で、各都道府県の特産品を地図中に絵で例示している。 ○ 「都道府県の特産品」「空から日本を見てみると」で、各都道府県の特産品や特徴、県庁所在地などをカードにして示している。 |
| 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の都道府県の区分」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。また、広島県について、写真と文章で特色を例示している。 ○ 「やってみよう」で、クイズを作ることを促し、富士山がまたがっている県、海に面した県、名前に動物がかくれている県を例示している。 |
| 光 村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いいところいっぱい、わたしたちの県」で、各都道府県の名称と位置を示している。また、各都道府県の特産品、歴史的建造物、有名なものを地図中に絵で示している。 ○ おいしいもの、きれいなもの、豊かな自然、古くからの伝統、未来に向けたまちづくりなど、県にあるたからものを見つけるように促している。 |
| 日 文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「知っている都道府県がどれぐらいあるだろう」で、北海道、岩手県、大阪府、東京都、静岡県、山梨県、岡山県、香川県、宮崎県の各都道府県について、写真と文章で特色を例示している。また、自分の住む都道府県やそこと隣り合っている都道府県、行ったことがあったり知っていたりする都道府県などを白地図に書き込み、色付けをするように促している。 ○ 「都道府県を使った問題をつくってみよう」で、各都道府県の名称と位置を示し、クイズ形式で、「山」や「川」のつく県、海に面していない県を探したり、何かの形に見える県を考えたり、県名でしりとりをしたりするように促している。 |

【社会】

| | |
|-----------|--|
| 観点 | (ア) 基礎・基本の定着 |
| 視点 | ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 |
| 方法 | 世界の主な大陸と海洋の例及び世界の主な国の例 |

| | 世界の主な大陸と海洋の例 (第5学年) | 世界の主な国の例 (第5学年) |
|----------------|---|--|
| 東 書 | <p>「わたしたちの国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 | <p>「わたしたちの国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 フランス, ドイツ, ロシア, 中華人民共和国, 大韓民国, アメリカ合衆国, カナダ, ブラジル, アルゼンチン, ニュージーランド, オーストラリア, インド, サウジアラビア, トルコ, 南アフリカ共和国, エジプト, イギリス ○ まわりの国々 大韓民国 (韓国), 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 中華人民共和国 (中国), ロシア連邦, モンゴル, フィリピン, ベトナム |
| 教 出 | <p>「わたしたちのくらしと国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 | <p>「わたしたちのくらしと国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 イギリス, フランス, ドイツ, ロシア連邦, 中華人民共和国 (中国), タイ, インド, サウジアラビア, エジプト, ガーナ, 南アフリカ共和国, オーストラリア, カナダ, アメリカ合衆国, メキシコ, ペルー, ブラジル, アルゼンチン ○ まわりの国々 ロシア連邦, モンゴル国, 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 大韓民国 (韓国), 中華人民共和国 (中国), フィリピン共和国 |
| 光 村 | <p>「日本の国土とわたしたちのくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 | <p>「日本の国土とわたしたちのくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 イギリス, ドイツ, フランス, サウジアラビア, エジプト, 南アフリカ共和国, タイ, ベトナム, アメリカ合衆国 (アメリカ), カナダ, 大韓民国 (韓国), 中華人民共和国 (中国), ロシア連邦 (ロシア), ブラジル, アルゼンチン, ニュージーランド, オーストラリア ○ まわりの国々 大韓民国, 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 中華人民共和国, ロシア連邦, フィリピン, モンゴル |
| 日 文 | <p>「日本の国土と人々のくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 | <p>「日本の国土と人々のくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 フランス, ドイツ, イタリア, エジプト, 南アフリカ共和国, サウジアラビア, インド, ベトナム社会主義人民共和国, 中華人民共和国 (中国), 大韓民国 (韓国), 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), フィリピン共和国, ロシア連邦 (ロシア), オーストラリア, カナダ, アメリカ合衆国 (アメリカ), チリ, ブラジル ○ まわりの国々 ロシア, モンゴル, 中国, 北朝鮮, 韓国, フィリピン |

| | |
|----|--|
| 観点 | (ア) 基礎・基本の定着 |
| 視点 | ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 |
| 方法 | 歴史上の人物の扱い及び事例 |

| | 歴史上の人物の扱い (第6学年) | 事例 |
|--------|--|--|
| 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物。 (写真や肖像画で記載している人物) ・ 竹崎季長, 菅原道真, 北条政子, シャクシャイン, 前野良沢, 大塩平八郎, 岡倉天心, 坂本竜馬, 新島八重, 津田梅子, 棚田嘉十郎, 与謝野晶子, 夏目漱石, 樋口一葉, 新渡戸稲造, 田中正造, 平塚らいてう, 市川房枝, 山田少年 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像, 「学問のすゝめ」(写真) ○ 「学問のすゝめ」(文章) 福沢諭吉が書いた「学問のすゝめ」全17編は, 340万部以上売れたといわれています。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」で始まるこの本には, 人間は生まれながらにして平等であること, 一国の独立は個人の独立にもとづくこと, 個人の独立には, 学問が必要なことなどが記されています。明治の新しい時代にふさわしいと思われる人間の生き方が書かれたこの本を当時の知識人を中心とした人々は, 競って読みました。 |
| 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物。 (写真や肖像画で記載している人物) ・ 北条政子, 竹崎季長, シャクシャイン, 松尾芭蕉, 大塩平八郎, 坂本竜馬, 徳川慶喜, 山口尚芳, 岩倉具視, 津田梅子, 渋沢栄一, 楠瀬喜多, 石川倉次, フェノロサ, 与謝野晶子, 田中正造, 北里柴三郎, 志賀潔, 新渡戸稲造, 平塚らいてう, 山田孝野次郎, 後藤新平 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像(生没年) ○ 福沢諭吉と「学問のすゝめ」(文章) 江戸時代の終わりに中津藩(大分県)の武士の家に生まれた福沢諭吉は, 家がらなどによって身分が決まるしくみはまちがっていると考えました。諭吉は, 「学問のすゝめ」という本で, 「天は人の上に人を造らず, 人の下に人を造らずといえり。」と書いて, 人は生まれながらにして平等であり, 学問をすることで身を立っていくべきだと主張しました。「学問のすゝめ」はたちまち20万部も売れ, 新しい時代の中で, 多くの人々に影響をあたえました。 |
| 光 村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物。 (写真や肖像画で記載している人物) ・ 北条政子, 竹崎季長, シャクシャイン, 菅江真澄, 坂本竜馬, 高杉晋作, 吉田松陰, 山口尚芳, 岩倉具視, 津田梅子, 与謝野晶子, 北里柴三郎, 志賀潔, 夏目漱石, 樋口一葉, 田中正造, 山田孝野次郎, 平塚らいてう, 山本作兵衛, 杉原千畝, 湯川秀樹, 浜井信三 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像(生没年) ○ 新しい考え方を主張した福沢諭吉(文章) 福沢諭吉は, 中津藩(大分県)の身分の低い武士の家に生まれました。身分や家がらで将来が決められてしまう社会に疑問をもっていた諭吉は, 長崎や大阪で西洋の学問を勉強し, 力をつけました。 日本が開国すると, 諭吉は, アメリカやヨーロッパに行き, 西洋と日本との生活や考え方のちがいにおどろきました。そして, 西洋の様子を本にあらわして, 人々に伝えました。 1872(明治5)年に出した『学問のすゝめ』は, 「天は人の上に人をつくらず, 人の下に人をつくらず」という言葉で始まり, 人間はみな平等であること, 学問をすることによって国民が自立することの大切さを説いています。 |
| 日 文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物。 (写真や肖像画で記載している人物) ・ 棚田嘉十郎, 北条政子, 竹崎季長, 大内義隆, シャクシャイン, 雨森芳洲, 前野良沢, 大塩平八郎, 岩倉具視, 坂本竜馬, 徳川慶喜, 山口尚芳, 与謝野晶子, 柳宗悦, 田中正造, 北里柴三郎, 津田梅子, 平塚らいてう, 山田孝野次郎, 渋沢栄一, 尾高惇忠, ポール＝ブリュナ, 横田(和田)英, 斉藤隆夫, マッカーサー, 山中伸弥, 湯川秀樹 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像(生没年) ○ 『学問のすゝめ』(文章) 天は人の上に人をつくらず, 人の下に人をつくらずといわれるように, 人はみな, 生まれながら平等である。 また, 学問のなかでも世の中の役に立つ実学にはげむことで, 人は独立することができる。一人一人の独立が, やがて日本の独立につながるのである。 中津藩(大分県)出身の福沢諭吉は, 下級武士の子どもでしたが, 欧米にもわたり, 『学問のすゝめ』を書くなど, 教育者としてかつやくしました。 |

【社会】

| | |
|----|----------------------|
| 観点 | (イ) 学習方法の工夫 |
| 視点 | ④興味・関心を高めるための工夫 |
| 方法 | 導入の工夫及び興味・関心を高める問いの例 |

| | 導入の工夫 (第5学年) | 興味・関心を高める問いの例 |
|--------|---|---|
| 東 書 | ○ 大単元の導入において、見開きや片観音開きのページ構成により、写真などで地球の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。 | ○ 「わたしたちの国土」の導入ページ <ul style="list-style-type: none"> ・アジアを中心とした衛星写真，世界の大陸と海洋のイラスト，地球儀や地図を使った学習活動を示している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。(吹き出し数6) 「日本のまわりにはどんな国があるのかな。」 「世界の大陸や海洋はどうなっているのだろうか。」 ・下段に単元の学習のめあてを掲載している。 |
| 教 出 | ○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真などで地球の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。 | ○ 「わたしたちの暮らしと国土」の導入ページ <ul style="list-style-type: none"> ・アジアを中心とした衛星写真，地球儀や地図を使った学習活動を示している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。(吹き出し数3) 「わたしの知っている外国は，どのあたりにあるのかな。」 「日本は，大きな陸地のとなりにある島国だね。」 ・下段に単元の学習のめあてを掲載している。 |
| 光 村 | ○ 大単元の導入において、見開きや観音開きのページ構成により、写真などで国土の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。 | ○ 「日本の国土とわたしたちの暮らし」の導入ページ <ul style="list-style-type: none"> ・日本列島の衛星写真，日本の地形や交通網，土地利用を表した日本地図を示している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。(吹き出し数2) 「わたしたちの国，日本は，地図で見ると，こんな形をしているんだ。」 「ぼくたちのまちは，日本の中のどこにあるのかな。」 ・上段に単元の学習のめあてや学習への誘いの文を掲載している。 |
| 日 文 | ○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真で地球の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。 | ○ 「日本の国土と人々の暮らし」の導入ページ <ul style="list-style-type: none"> ・アジアを中心とした衛星写真を掲載している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。(吹き出し数4) 「いくつかの大きな陸地のかたまりがあるね。それぞれがちがった形をしているよ。」 「地球のようすをもっとくわしく調べてみるにはどうしたらいいのかな。」 ・下段に単元の学習のめあてや学習への誘いの文を掲載している。 |

【社会】

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 観点 | (イ) 学習方法の工夫 |
| 視点 | ⑤見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫 |
| 方法 | 学び方のポイント及びまとめ方の例 |

| | 学び方のポイント（第6学年） | まとめ方の例（第6学年） |
|----------------|---|---|
| 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻の最初の単元に，見開きで「学習の進め方」のページを設け，「つかむ」，「調べる」，「まとめる」，「いかす」という学習の進め方を示している。 ○ 問題解決的な学習の進め方については，単元ごとに「学習問題」を示すとともに，学習を振り返る，「まとめる」というページを設けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本とつながりの深い国々」 ・ つながりの深い国について調べたことを出し合い，話し合う。 ・ 日本と似ているところと違うところを表に整理して，話し合う。 ・ 意見文をつくり，発表する。 |
| 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻の最初の単元に，見開きで「学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう」のページを設け，「つかむ」「調べる」「まとめる・深める」という学習の進め方を示している。 ○ 問題解決的な学習の進め方については，単元ごとに「学習問題」を示し，キーワードに注目して学習を振り返る「まとめる」というページを設けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本とつながりの深い国々」 ・ つながりの深い国について，調べたことを発表し，話し合う。 ・ 調べた国について，日本との関わり，国土や産業の様子などの項目ごとに表にまとめる。 ・ 調べた国と日本とのこれからの関係について自分の考えを書く。 |
| 光 村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に見開きで，「見つける（ホップ）」，「調べる・話し合う（ステップ）」，「まとめる・広げる（ジャンプ）」という学習の進め方を示している。 ○ 問題解決的な学習の進め方については，単元ごとに「クラスの学習問題」を示すとともに，まとめる方法を例示した「まとめる・ひろげる」というページを設けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「世界とつながる日本」 ・ それぞれが調べた国について発表し合い，発表を聞いて考えたことをクラスで話し合う。 |
| 日 文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻の巻頭に「この教科書のしくみ」のページを設け，「わたしの問題」，「わたしの見方・考え方」，「ふりかえてみよう」という言葉で，学習の進め方を示している。 ○ 問題解決的な学習の進め方については，問いの形で学習問題を示すとともに，振り返る方法を例示した「ふりかえてみよう」のページを設けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本とつながりの深い国々」 ・ つながりの深い国について発表し合い，それぞれの国を比べてどんなことがわかるかを振り返る。 ・ 振り返ったことをもとにして新聞にまとめ，社説として自分の考えを書く。 |

| | |
|-----------|-----------------------|
| 観点 | (イ) 学習方法の工夫 |
| 視点 | ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 |
| 方法 | 作業的・体験的な学習の例及び具体的な事例 |

| | 作業的・体験的な学習の例 (第6学年) | 具体的な事例 (第6学年) |
|--------|--|---|
| 東 書 | ○ 地域のフィールドワーク、博物館の見学、人物の台詞づくり、新聞づくり、カードづくり、年表づくり、室町文化体験、レポート作成、メッセージづくり、徳川家康への手紙作成、比較表作成、キャッチフレーズづくり、明治の人物関係図づくり、戦争体験の聞き取り、意見文作成、インタビュー、市役所の取材、フローチャート作成、三権分立図づくり、つながりの深い国調べ、地図づくり | ○ 「今に伝わる室町文化」 「室町文化を体験してレポートを書こう。」というページを設け、茶の湯体験の様子と児童のレポートを例示している。 |
| 教 出 | ○ 地域のフィールドワーク、博物館の見学、年表づくり、比較表作成、人物の木づくり、歴史人物インタビュー、新聞づくり、関係図づくり、作文作成、絵の解説作成、人物の解説作成、人物の台詞づくり、聞き取り調査、カードづくり、三権分立図づくり、つながりの深い国調べ | ○ 「今も受けつがれる室町文化」 茶の湯・生け花の写真と、室町文化を学習して分かったこと、考えたことを書いた児童の学習ノートを例示している。 |
| 光 村 | ○ 地域のフィールドワーク、博物館の見学、大昔の人々の暮らしの劇化、新聞づくり、室町文化体験、人物年表づくり、スピーチ原稿作成、ポスターづくり、人物事典づくり、年表づくり、提案書作成、つながりの深い国調べ、意見文作成 | ○ 「今に生きる室町幕府」 「室町文化を体験しよう」というページを設け、茶の湯体験、水墨画体験、生け花体験のグループに分かれて体験した様子と、児童の感想を例示している。 |
| 日 文 | ○ 地域のフィールドワーク、資料館・博物館の見学、カードづくり、ふりかえりシート作成、人物関係図づくり、地図づくり、聞き取り調査、年表づくり、新聞づくり、イラスト添付による年表づくり、自分年表づくり、つながりの深い国調べ、室町文化体験 | ○ 「室町文化が生まれる」 能について体験したり調べたりして分かったことを書いた児童のふりかえりシートを例示している。 |

【社会】

| | | |
|-----------|--|--|
| 観点 | (ウ) 内容の構成・配列・分量 | |
| 視点 | ⑦単元や資料等の配列 ⑧単元ごとの分量や問題数等 | |
| 方法 | 単元の構成・事例の取扱い 各単元の構成, 補充的・発展的教材の分量, バランス | |

| | サイズ | 第5学年における単元の構成 (補助・選択教材を含む) | | 補充的・発展的教材の分量 | 地域事例 |
|----|-----|---|-------------------------------------|--------------------|---|
| | | 上巻 | 下巻 | | |
| 東書 | ワイド | 118 ページ | 138 ページ | 上巻 (10) 下巻 (26) | ○ 農業：庄内平野 ○ 水産業：長崎県, 静岡県, 青森県 ○ 自動車工場：愛知県豊田市 ○ 国土：岐阜県海津市, 長野県川上村・南牧村, 沖縄島, 北海道十勝地方 |
| | | ○ 国土 (60) ○ 農業・水産業 (58) | ○ 工業 (56) ○ 情報 (42) ○ 環境 (38) | | |
| 教出 | ワイド | 160 ページ | 66 ページ | 上巻 (14) 下巻 (6) | ○ 農業：南魚沼市 ○ 水産業：根室市, 垂水市 ○ 自動車工場：福岡県苅田町 ○ 国土：新潟県白根郷, 長野県野辺山原, 沖縄県, 北海道 |
| | | ○ 国土 (50) ○ 農業・水産業 (58) ○ 工業 (52) | ○ 情報 (26) ○ 環境 (40) | | |
| 光村 | ワイド | 220 ページ | | (30) | ○ 農業：庄内平野 ○ 水産業：長崎県松浦市, 愛媛県愛南町, 神奈川県三浦市, 神奈川県葉山町, 富山県氷見市 ○ 自動車工場：神奈川県横須賀市 ○ 国土：和歌山県田辺市, 長野県飯山市, 岐阜県海津市, 長野県原村, 沖縄県, 北海道旭川市 |
| | | ○ 国土 (48) ○ 農業・水産業 (54) ○ 工業 (50) ○ 情報 (30) ○ 環境 (38) | | | |
| 日文 | ワイド | 104 ページ | 120 ページ | 上巻 (14) 下巻 (20) | ○ 農業：庄内平野 ○ 水産業：長崎県 ○ 自動車工場：三重県鈴鹿市 ○ 国土：岐阜県海津市, 群馬県嬲恋村, 沖縄県, 北海道旭川市 |
| | | ○ 国土 (44) ○ 農業・水産業 (60) | ○ 工業 (46) ○ 情報 (26) ○ 環境 (48) | | |

※ () はページ数

【社会】

| | |
|-----------|--------------------------------------|
| 観点 | (エ) 内容の表現・表記 |
| 視点 | ⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 |
| 方法 | 使用されている写真，地図，グラフ等の資料及び小単元における資料の種類と数 |

| | 使用されている写真，地図，グラフ等の資料 (第5学年) | 資料の種類と数 (我が国の農業) |
|----------------|---|--|
| 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 地形図，主題図，鳥瞰図，地球儀 ○ 棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ，雨温図，表，年表 ○ 新聞記事 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (49)，イラスト (3) ○ 主題図 (2)，地図 (2)，鳥瞰図 (1)，図 (1) ○ 折れ線グラフ (4)，帯グラフ (0)，円グラフ (6)，棒グラフ (3)，表 (1) |
| 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 地形図，主題図，地球儀 ○ 棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ，雨温図，表，年表 ○ 新聞記事 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (48)，イラスト (8) ○ 主題図 (3)，地図 (1)，鳥瞰図 (0)，図 (0) ○ 折れ線グラフ (4)，帯グラフ (1)，円グラフ (1)，棒グラフ (5)，表 (2) |
| 光 村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 主題図，地球儀 ○ 棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ，雨温図，表，年表 ○ 新聞記事 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (44)，イラスト (5) ○ 主題図 (3)，地図 (2)，鳥瞰図 (0)，図 (1) ○ 折れ線グラフ (2)，帯グラフ (1)，円グラフ (4)，棒グラフ (3)，表 (1) |
| 日 文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 地形図，主題図，地球儀 ○ 棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ，雨温図，表，年表 ○ 新聞記事 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (40)，イラスト (20) ○ 主題図 (3)，地図 (3)，鳥瞰図 (0)，図 (2) ○ 折れ線グラフ (5)，帯グラフ (1)，円グラフ (1)，棒グラフ (9)，表 (3) |

【社会】

| | |
|----|--------------|
| 観点 | (エ) 内容の表現・表記 |
| 視点 | ⑩本文以外の記述の工夫 |
| 方法 | 脚注・側注の扱い |

| 脚注・側注の扱い（第3・4学年） | |
|------------------|---|
| 東 書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめに「めあて」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。 ○ 「学び方コーナー」により、場面に応じた学習方法を示している。 ○ 「まなびのポイント」により、その時間の学習の流れを示している。 ○ 「話し合おう」により、何について話し合いをするか示している。 ○ 「ことば」により、用語の解説を示している。 ○ キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。 |
| 教 出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめに「学んでいこう」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。 ○ 「学びのてびき」により、場面に応じた学習方法を示している。 ○ 「活動」により、その時間の学習の流れを示している。 ○ 「やってみよう」により、具体的な学習活動を示している。 ○ 「キーワード」により、社会科の学習にとって大切な言葉を示している。 ○ 「かいせつ」により、用語の解説を示している。 ○ キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。 |
| 光 村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめに「クラスの学習問題」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。 ○ 「たいせつ」により、場面に応じた学習方法を示している。 ○ 「ことば」により、用語の解説を示している。 ○ キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。 |
| 日 文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめに「学習のまど」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。 ○ 「学び方・調べ方コーナー」により、場面に応じた学習方法を示している。 ○ 「やってみよう」により、具体的な学習活動を示している。 ○ 「キーワード」により、社会科の学習にとって大切な言葉を示している。 ○ 「むずかしい言葉」により、用語の解説を示している。 ○ 「考えるヒント」により、資料を読み取るためのヒントを示している。 ○ キャラクターによる疑問の投げかけ、学習への働きかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。 |

【社会】

| | |
|-----------|--|
| 観点 | (オ) 言語活動の充実 |
| 視点 | ①観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し、それらを再構成するとともに、お互いの考えを深めていくための工夫 |
| 方法 | 観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し、それらを再構成するとともに、お互いの考えを深めていくための学習活動例 |

| | |
|-----------|---|
| | 観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し、それらを再構成するとともに、お互いの考えを深めていくための学習活動例（第6学年） |
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表に整理。年表に整理。ノートに整理。カードに整理。短文に整理。関係図に整理。人物カードに整理。 ○ 新聞の社説に自分の考えを書く。学習した人物の思いを書く。フローチャートに整理。当時の人になったつもりで説明する。せりふを考えて、4コマまんがを完成させる。徳川家光になったつもりで、自分が行うことを祖父の徳川家康あてに報告の手紙を書く。 ○ 時代を表すキャッチフレーズをつくり、友だちと話し合う。政治に関する新聞記事を出し合い、カードに整理して発表し、考えたことを話し合う。テーマを選んで意見文を書き、発信する。 |
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 年表にまとめる。関係図にまとめる。人物関係図にまとめる。比較して表にまとめる。カードにまとめる。キーワードで考えをまとめる。 ○ 絵や人物に解説をつける。特徴を説明する。表に整理して意見文を書く。インタビューに、それぞれの人物の立場になって答える。できごとをまとめ、意味を考える。宣言文を書く。 ○ 歴史新聞を作成し、お互いの作品を見せ合ってよいところや感想を伝え合う。資料を読み取ながら、国民の政治への参加について話し合う。調べたことを伝え合い、友だちの意見を取り入れたり、さらに調べたりして、作品をよりよいものにする。 |
| 光村 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 劇をつくる。歴史新聞を作る。人物年表を作る。人物事典を作る。カードにまとめる。年表を作る。 ○ 興味をもった出来事を調べて、戦後の年表を作る。「わたしたちの提案書」を書く。 ○ 貴族の世の中と武士の世の中を比べ、発表し合う。江戸時代の暮らしをスピーチで伝え合い、質問、感想を書く。わたしたちの未来について意見文を書き、話し合う。憲法の意義をスピーチする。調べた国のことを発表し合う。 |
| 日文 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ノート、図、カード、ポスターにまとめる。ふりかえりシートにまとめる。人物関係図にまとめる。地図に整理する。新聞にまとめる。 ○ 自分の生活と憲法の三原則との関係について考える。キーワードを使って分かったことを書く。 ○ 4人の人物ごとに図にまとめ、自分の考えのもとになった資料を示しながら、発表し合う。図にまとめ、自分たちの考えを話し合う。調べたことやまとめたノートや、写真、資料などを見せながら話し合う。 |

【社会】

| | |
|----|-----------------------------------|
| 観点 | (オ) 言語活動の充実 |
| 視点 | ⑫調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫 |
| 方法 | 新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方及び具体例 |

| | 新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方(第3・4学年) | 具体例(第3・4学年) |
|--------|---|---|
| 東 書 | ○ 絵地図、地図、ノート、表、図、 道具年表、新聞、安全マップ、歴史 マップ、カード、道具メモ、紙しば い、短い文(標語)、カルタ、ホーム ページ | ○ わたしたちの県 ・県の広がり ・特色ある地いきと人々の暮らし 1 焼き物をつくるまち 篠山市 2 コウノトリを育てるまち 豊岡市 城を守るまち 姫路市 「特色ある地いきのよさを伝えるカードをつくってみよう」 ・世界とつながるわたしたちの県 |
| 教 出 | ○ 地図、ノート、表、ポスター、グ ラフ、ちらし、パンフレット、年表、 絵カード、地域安全マップ、農事ごよ み、昔さがしマップ、地域安全会議、 道具調べカード、くらしの見直しをよ びかける言葉、絵地図 | ○ わたしたちの県のまちづくり ・県の地図を広げて ・焼き物を生かしたまちづくり 東峰村 ・昔のよさを未来に伝えるまちづくり 太宰府市 ・松原を生かしたまちづくり 宗像市 ・世界とつながる福岡県 「県をしょうかいするパンフレットをつくろう」 |
| 光 村 | ○ 絵地図、地図、ノート、まちの安 全マップ、しょうかいカード、お礼の カード、わたしたちの標語、県じまん かるた、旅行計画書、ガイドマップ、 店のしょうかいポスター、年表、紙し ばい、見学カード、水の旅すごろく、 昔さがしカード | ○ いいところいっぱいわたしたちの県 ・わたしたちの県 ・行ってみよう、見てみよう、わたしたちの県 「旅行計画書」を作ろう。 ・箱根町には、どんな特色があるのかな。 ・三浦市には、どんな特色があるのかな。 ・相模原市には、どんな特色があるのかな。 ・神奈川県と他の地いきには、どんなつながりがあるのかな。 「県じまんかるた」を作ろう。 |
| 日 文 | ○ 絵地図、地図、ノート、表、ガイ ドマップ、キャッチコピー、紙しば い、スケッチ、産地マップ、カルタ、 安全マップ、ふりかえりシート、パ ンフレット、道具調べカード、見学 発見カード、祭り調べカード、クイ ズ、ポスター、絵年表 | ○ わたしたちの住んでいる県 ・わたしたちの県のように ・県の人々の暮らし (1) ゆたかな自然を生かす真庭市 (2) 伝統的な工業がさかんな町 備前市 「パンフレットでPRしよう」 ・世界に広がる人とのつながり 「ふりかえってみよう」 「わたしたちが住んでいる岡山県」 ・わたしたちが住んでいる岡山県の見どころはここだ! |